

事業名：校舎屋体耐震化事業

教)総務課 施設係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実								
基本事業	04 教育環境の充実								
開始年度	平成15年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

新耐震基準（昭和56年6月）以前に設計、建築された棟を有する学校のうち耐震診断が必要な学校

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・校舎・屋体の耐震診断調査の実施
- ・耐震改修方法の検討（改修の必要性を含む）
- ・耐震改修に要する概算工事費の算出
- ・耐震診断の結果、耐震化が必要と診断された場合、実施設計、改修工事を段階的に実施

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地震による被害を最小限にとどめ、安全な教育環境を確保するための補強等の方法、内容を明らかにする。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	新耐震基準（昭和56年6月）以前に設計、建築された棟を有する学校のうち耐震診断が必要な学校数	校	0	0	0	—
対象指標2	新耐震基準（昭和56年6月）以前に設計、建築された棟を有する学校のうちレンガ造等耐震診断基準の研究により診断が必要となった学校数	校	0	5	3	—
活動指標1	耐震診断（優先度調査）を行った学校数	校	0	0	0	—
活動指標2	レンガ造等耐震診断基準により診断を行った学校数	校	0	0	0	—
成果指標1	耐震改修方法等の検討が終わった学校数	校	16	18	18	—
成果指標2	新耐震基準（昭和56年6月）以前に設計、建築された棟を有する学校のうち耐震化が終了した学校数	校	0	11	14	—
事業費(A)		千円	101,851	45,452	506,279	2,439,142
正職員人件費(B)		千円	7,223	20,842	20,314	14,083
総事業費(A+B)		千円	109,074	66,294	526,593	2,453,225

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第二小校舎改築 ・角山小木造校舎・大麻小レンガ校舎解体 ・江別太小校舎屋体改築実施設計 ・第一中校舎改築実施設計 ・非構造部材耐震改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二小校舎改築 293,017千円 ・角山小木造校舎・大麻小レンガ校舎解体 37,086千円 ・江別太小校舎屋体改築実施設計 44,625千円 ・第一中校舎改築実施設計 45,675千円 ・非構造部材耐震改修 62,328千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<p>新耐震基準(昭和56年6月)以前に設計、建築された校舎屋体で、2階以上又は200㎡以上の非木造建物が耐震診断の対象となっている。また、平成18年度より「安全・安心な学校づくり交付金」が創設され、国においても補正予算対応予定事業とするなど耐震化の推進を図っている。</p>	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 <p>建築物の耐震改修の促進に関する法律第2条の規定により、耐震診断及び耐震改修の努力義務が課せられている。</p>
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 <p>教育環境の充実だけでなく、災害時の広域避難場所となっている施設の整備により、防災の強化・充実にも貢献する。</p>
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 <p>平成24年度には国の補正予算に伴う「安全・安心な学校づくり交付金」の追加交付（平成23年度からの繰越）を活用し、1校の耐震化を実施した。</p>
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 <p>平成24年度にはレンガ造建物の耐震診断方法が確立されたことから、今後はレンガ造校舎の耐震化も順次進めていく。</p>
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠 <p>委託及び工事発注関連予算であり、工事の内容については、北海道の内容聴取を受けた上で耐震性を確保するために必要最小限の設計としている。</p>